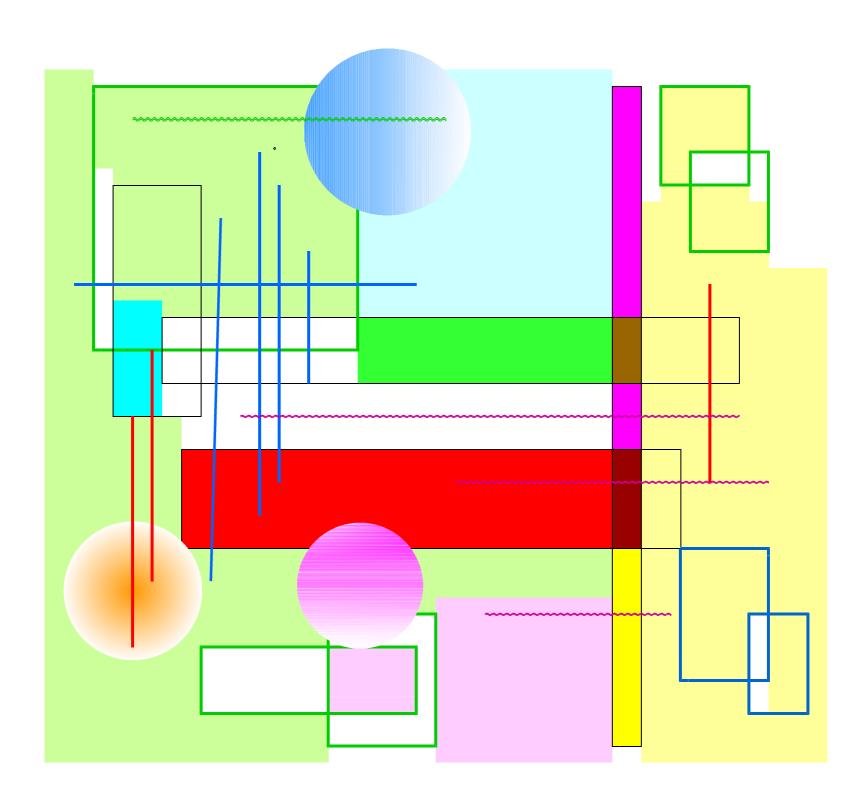
学習の手引き



行方市立麻生第一中学校

年	組	氏名	
		-	

目 次

は	じめ) に	-							1
《 亘	国 語	の	学	22	方	法	>>			2
≪ ネニ	上会	の	学	22	法	法	>			3
《娄	文学	の	学	22	方	法	>			4
《 <u>F</u>	里 科	の	学	22	方	法	>>			5
《 ጛ	善 善	の	学	22	方	法	>>			6
ノ・	- ト	の	書	き	方	に	つ	いて		
	玉		語		-					7
	社		会							8
	数		学							9
	理		科						1	0
	英		語						1	1

「家庭学習のすすめ」

学習を学びの環境に~自ら学ぶ生徒を目指して~

その1 基本的な生活習慣を見直しましょう

早寝・早起き・朝ごはん・朝の排便を大切にしましょう

その2 家庭の学習環境を整えましょう

決まった場所で一定の時間、テレビを消して学習に集中しましょう

その3 学習習慣の定着をめざしましょう

基本的な学習習慣や自学自習の習慣を身に付けましょう。

《学力を身に付けよう》

学力を身に付けるためには、毎日の積み重ねが大切です。授業と家庭学習(予習・復習)にしっかりと取り組んでいきましょう。

- ○家庭学習(予習)では・・・ 次の授業で学習する範囲の教科書を 読んで、分かったところと分からないと ころをつかんでおきましょう。
- ○授業では・・・ 予習で分からなかったところを分かる ように集中して学習しましょう。分かって いたことは、さらに理解を深めましょう。
- 〇家庭学習(復習)では・・・ 授業のまとめを行ったり、宿題や練習問題・くり返し練習な どを行い、理解をしつかりとしたものにしましょう。

平日の学習時間の目安: 1・2年生・・・2時間以上

3年生・・・3時間以上

〇家庭学習の仕方については、各教科の学習方法を参照してください。

《各教科の学習方法》

国 語

〇 国語を学習すると身に付く力

- ・相手の意見や考えを理解する力が付く。
- ・自分の考えや思いや気持ちを伝える力が付く。
- ・情報を正しく理解する力が付く。
- ・想像力や豊かな感性が身に付く。



・国語(母国語)を大切にする心や態度が育つ。 ・話す・聞く・読む・書くの学習は、全ての教科の基礎になる。 授業の受 前の時間に学習した内容を確認する。 け方 2 授業のめあてや課題をしっかりと理解する。 3 先生の質問について自分なりの考えをもつ。 4 自分の考えをはっきりと述べる。 先生の話や友達の意見をしっかりと聞く。 (5) 話し合いに積極的に参加する。 6 7 友達の意見、発表、作品を大切にし認める。 ノートの 文字を丁寧に書く。 (1) 書き方 2 使用するペンを目的に応じて使い分ける。 自分の意見をまとめた後に、グループや全体での話し合いを受けて修 黒 板 に 書 い て い な い 内 容 で も 学 習 に 必 要 だ と 思 っ た と こ ろ は 自 分 で ノ ートに書く。 ⑤ 自分の考えや自分なりにまとめたことをノートに書き込む。 家庭での < 予習> 学習の仕 教科書を音読する。(単元が終わるまでに10回が目標です。) 1 方 新出漢字や読めない漢字,意味の分からない語句を辞書を使って調べ ておく。 <復習> 1 授業で使ったプリントやワークを整理し、できなかったところは繰り 返して解く。 その日に学習した漢字や語句などを確認し、書いて覚える。 効果的な 授業で使ったプリントやワークなどの問題をもう一度解いてみる。 (1) テスト勉 読めなかったり、書けなかったりした漢字を繰り返し書いて覚える。 強法 (苦手な人は読むことは完璧にする。) 間違えたとことは、特に繰り返して復習する。 ワンラン 辞書を手もとに置き、わからないことを調べる習慣を身に付ける。 クアップ 自分で問題を作成したり、友達と協力したりしてテスト形式で復習す 2 するため る。 (3) 漢字検定に挑戦する。 新聞を読む習慣を身に付ける。



- (新聞の記事に賛成か反対か自分の意見をもち,その理由も考える。)
- う 読書をする習慣を身に付ける。
- ・国語が苦手と感じる生徒は、年間読書量1冊~30冊を目指す。
 - ・国語が好きと感じる生徒は、年間読書量30冊~50冊を目指す。
- ・文章の内容について考えることが楽しいと感じる生徒は, 年間読書量 50冊~100冊を目指す。
- ⑥ 機会あるごとに、作文・詩・短歌などを作ってみる。
- ⑦ 「国語の新 研究」を、学習し、説明文を確認しながら、何度も問題を解いてみる。

入けかントイに先のイドの輩ワンバ

- ・よく問題文を読み、何を聞かれているのかをよく考えてこたえよう。
- 自分の考えを書く問題が多くなっているので、しっかりとまとめて書こう。
- ・古文、韻文、俳句の問題もたくさんやっておこう。
- バー・漢字練習をしっかりとやろう。

社 会



- 0
- 社会を学習すると身に付く力 自分の住んでいる地域から世界まで、位置関係や地名、地域の特色、生活してる人々の様子などを知り、社会に生かすった。 異なった国の異なってきる。 持ちを深めることができる。 先人の業績を知り、阿来と諸外国との関係を捉えることができる。 たりのな観点から日本と諸外国との関係を捉えることができる。 どんな権利や義務があるか、政治や経済の仕組みがどうなことができる。 どんな権利や義務る基本的な知識を息に付けることができる。
 - 「一人」の共なった文化や人々の生活習慣を知り,互いの文化を尊重したを深めることができる。 人の業績を知り,将来の生活や生き方に生かす力が身に付く。 史的な観点から日本と諸外国との関係を捉えることができるようになる。 んな権利や義務があるか,政治や経済の仕組みがどうなているかなど実施がすことができる基本的な知識を習得することができる。 際社会の一員として,活躍するための知識を身に付けることがで

授業の受 け方



- 2 3 4 5
- 678
- 前の時間に学習では、 一時間に学習のでは、 一時間に学習のでは、 一時では、 9
- (10)

ートの 書き方



- 1
- 事 な 板 に
- ところは色ペンを使い分かりやすくする。 書いた事だけではなく先生の話の中で重要だと思う事を書く。 丁寧に書くように心がけている。 --ジには,学習した内容を振り返るための基礎プリントをしっ 八黒文左りたりにをぺ貼ぺ 2 3 4
- りと貼る。 右のページには,板書した 授業の感想や質問を書く。 板書した事項をしっかりと書く。

家庭での 学 習の仕 方

____ 教科書をよく読み, 疑問点や分からない語句にアンダーラインを引い おく。 1 て

要語句を確認し、ノートに書き出しておく。 重



- 2 < 1 復 習 授 業 で使 ったプリントはノートにしっかりと貼っておく、ワークを使
- べてそ 学習する。の日に学習した用語や地名,人名,出来事の名称などを確認し,色 つ 2 分けや図式化してまとめる。
- 問題集などで基礎的・基本的な学習内容をおさえておく。間違えた部分を家庭学習帳にまとめる。

効果的な デスト 勉 強 法

- 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題をもう一度解いて 1 みる
- 3



ー問ー答式で友達と問題を出し合う。 同違えた部分をまとめた家庭学習帳の内容を確認し、重要な語句を確実に覚える。

ノアる クす ン ツ た め

- 自分で用語カードを作り
- 機会あるごとに見て覚える。 るだけでなく,説明できるようにしておく。 , 位置関係を把握しておく。 国分で用語カートを作り、版 云のることに えてえん る。 重要な語句や出来事を覚えるだけでなく,説明できるようにしておく。 地名や場所を必ず確認して、位置関係を把握しておく。 自分なりに年号の覚え方を工夫する。 新聞を読んだり、ニュースを見たりして、世の中の出来事に関心をも 234

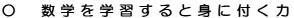


- <u>Š</u>
- 積極的に見たり読んだりする。
- 。 社会科に関係のある番組や本などを、積極的に見図書館や博物館などの施設を訪ねてみる。 教科書の本分だけでなく、資料や地図、グラフ、 ておく。 年表作りに挑戦する。 6 7 8 写真なども注意して
- 見 9
- 会の新研究 を使い、説明文を見ながら、問題を解いてみる。

入試に向 け て先輩 からのワ ンポイン トアドバ イス

- ・基本的な重要語句をしっかりと覚えよう。
- ・文章をよく読んだり、図や表を見て答える問題が多くなっているので、 見落とさないようにしよう。
- ・教科書をよく読み、地図や年表もしっかりと確認しながら学習しよう。

数 学



- ・物事を筋道を立てて考え、解決していく力が身に付く。
- ・日常の生活に役立つ計算力が身に付く相手の意見や考えを理解する力が付く。

L 🖏

niii 😮

- ・様々な解決方法を考える力が身に付く。
- ・自分の考えを筋道を立てて説明できる力が身に付く。 ・立体的に物を見ることができる感覚が身に付く。
- ・情報を処理する能力が身に付く。
- ・学習した内容を様々な分野で活用することができる。

授業の受 け方

- 前の時間に学習した内容を確認する。 (1)
- 2 授業のめあてや課題をしっかりと理解する。 (3) 先生の質問について自分なりの考えをもつ。
- 自分の考えをはっきりと述べる。 4
- (5) 先生の話や友達の意見をしっかりと聞く。
- 話し合いに積極的に参加する。 6
- 答えが「合った」「合わない」よりも、答えがでてくる過程や発想を 7 大切にする。
- (8) 教科書の中の例題や図を生かして、解き方のパターンを覚える。
- 様々な解き方にチャレンジする。 9

ノートの

書き方

- (1)大事な部分は色分けして書く。
- 先生のコメントを自分で覚えやすいようにまとめて書く。 2
- 図や表にまとめて書く。 (3)
- 4 配付されたプリントは必ず整理して、活用できるように貼る。
- (5) 先生のコメントや自分で気付いたところを自分になりにまとめて書 < .
- 6 改行や段落,ノートの余白をうまく生かして,分かりやすく書く。

家庭での 学習の仕



1

(1) 教科書の例題や練習問題などを自分でやてみて、分からないところや 間違えたところを確認しておく。 <復習>

授業で使ったプリントやノート、ワークシートを整理し、授業を振り



返る。

- (2)授業で学習した問題をもう一度解いてみる。
- (3) 間違えたところは、暗記するぐらい確実に復習する。 復習で出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。 4

効果的な テスト勉 強法

- その日に習った問題をもう一度解いてみる。 (1)
- 教科書をよく読み、まとめや大切なところを確認する。
- (3) 一次方程式は完全に解けるようにしておく。
- 式・表・グラフを読み取ったり、使ったりする問題を解く。 4
- 用語・公式の意味を正しく理解し、何度も書いて覚えたり、練習問題 を解いたりする。
- 練習問題を解いたら自分で丸付けをして、間違った問題の解き直しを する。

ワンラン クアップ するため

- 早く解けるようになるために、時間を決めて挑戦する。 1
- 2 自分で問題を作成し、テスト形式で復習する。
- 数学検定に挑戦する。 (3)
- ゲーム形式で友達と競争しながら問題を解いてみる。 (4)
- (5) 「数学の新研究」を使い、説明文を見ながら、問題を解いてみる。
- 6 入試問題や解くのに時間がかかる問題にも挑戦する。

入試に向 けて先輩 からのワ ンポイン トアドバ イス

- ・教科書をよく読み基本的な内容をしっかりとおぼえよう。
- ・計算問題をたくさん行い、計算力を高めていこう。
- ・ケアレスミスをなくそう。

理 科



理科を学習すると身に付く力 0

- 生活に役立つ知識が身に付く。
- ・生活の中から問題を見つけ、予想を立てて調べたり、考えたりしていく力が身に 付く。
- ・疑問に感じることを他と協力しながら解決していく力が身に付く。
- ・事態をしっかりととらえ、物事を正しく判断する力が身に付く。
- ・実験器具や薬品などの取り扱い方が身に付く。
- ・自然の仕組みや不思議さ、素晴らしさを知ることができる。

授業の受 け方

- 前の時間に学習した内容を確認する。 (1)
- 授業のめあてや課題が分かる。。 先生の質問について自分なりの考えをもつ。 (3)
- 自分の考えをはっきりと述べる。 (4)
- 先生の話や友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えと比べる。 $\widehat{(5)}$
- 6 予想を立てたり実験結果から何が分かるかを考えたりするなどの時間 を大切にする。
- 7 観察・実験では、何を調べるかを考えて、班で協力して取り組む。
- 8 観察・実験では,指示に従い安全面に十分注意して取り組む。
- 9 実験・観察では、細かい変化に注意し、しっかりと記録をとり、最終 的に自分の言葉でまとめられるようにする。
- 話し合いに積極的に参加する。

ノートの 書き方

- 板書事項だけでなく授業の中で大切だと思ったことを書き加える。
- 友達とグループで話し合い、新しい発見があったことや大切だと思っ 2 たことを書く。



- 重要だと思ったところへ蛍光ペンや赤青ペンで線を引く。
- 「課題」「予想」「結果」「考察(自分・班)」「まとめ」の流れが明 確であり、図や付箋を工夫して自分の考えを分かりやすくまとめる。
- 市販の「理科ノート」の特徴を生かし、授業の「感想・疑問」を計画 的に書かせ, 次時学習に生かすようにする。
- 単元のまとめの練習を左側ページで行い自己採点し、自己評価する。

家庭での 学習の仕

方

< 予習>

1 教科書を読み、学習内容を確認する。

<復習>

- 授業で使ったプリントやワークを整理し、授業を振り返る。 (1)
- 観察・実験上の注意展を絵や図に表してみる。
- 3 その日に学習した内容を復習する。
- **(4)** 宿題や練習問題を学習したその日のうちに行う。

効果的な テスト勉 強法

- 重要語句を確認する。 (1)
- 授業で使ったプリントやワーク、ノートなどの問題を繰り返し解いて 2 みる。



- 3 観察・実験の留意点、結果から考察できる点をまとめてみる。
- 教科書の練習問題や章末問題を行う。 4

ワンラン クアップ するため

- 進んで自然とふれあい、身近な自然の様子を知る。 (1)
- 自然現象は、関連し合っていることが多いので、物事のつながりに目 を向けて学習する。
- 日常生活の中での出来事を科学的な視点で見る。
- 疑問に思ったことを、図書館やインターネットを利用して積極的に調 べてみる。



- (5) 実験結果や様々な現象を自分の言葉で説明できるように繰り返し学習 する。
- 図書館や博物館、科学技術館、動物園などの施設を訪ねてみる。
- 理解に関するテレビ番組やニュース、新聞記事、科学雑誌等を進んで 7 見るようにする。
- 発明工夫展や理科研究展などに積極的に出展する。

先輩から のワンポ イントア ドバイス

- ・ 教 科 書 を 何 度 も 読 み , ま と め る な ど し て 基 本 的 な こ と を し っ か り と 覚 え よう。
- ・記述問題では、語句の意味を正しく理解して、文章を書きましょう。 ・計算問題では、法則や公式を問題に合わせて使えるようにしておこう。

英 語



O 英語を学習すると身に付くカ

- ・世界の共通語を学ぶことで、国際社会に対応するための必要な力が身に付く。
- ・英語を通して積極的にコミュニケーションを図る力が身に付く。
- ・相手の考えを理解し自分の考えを英語で表現する力が身に付く。
- ・英文を読み、内容を理解できる力が身に付く。
- ・日本語や風俗習慣等の日本文化を見直すことができる。
- ・異なった国の異なった文化や人々の生活習慣を知り、互いの文化を尊重し合う気持ちを深めることができる。
- ・テレビや映画など、身近なところで英語が使われていることに気づき、生活する 上での視野が広がる。

授業の受け方

- ① 前の時間に学習した内容を確認する。
 - 授業のめあてや課題をしっかりと理解する。
- ③ 単語の発音や教科書の音読は、大きな声でしっかりと行う。
- ④ 先生の発音・リズムを集中して聴き、まねながら練習する。
- ⑤ 英語ゲームや英語での会話などの学習活動に積極的に参加する。
- ⑥ 分からないことは、先生やALTに質問し、必ず解決しておく。
- ⑦ 常に辞書を用意し、いつでも活用できるようにしておく。

ノートの 書き方

Good

- ① 英語で曜日を書く。
- ②スペルを大切に書く。
- ③ 板書事項を写すだけでなく、重要なポイントは、自分の言葉で書く。
- ④ 重要な点をボールペンの黒字で濃く書いたり色分けをしたりする。
- ⑤ ノートの左側に新しい単語と文章とそれぞれの意味を書き、右側に授業で学習した内容を書いて、両開きにして見やすくする。
- ⑥ 授業で学習したポイントをしっかりと書く。
- ⑦ 感想もしっかりと書く。

家庭での学習の仕方

<予習>

- ① 教科書を音読し、疑問点や分からない単語を確認する。
- ② 新出単語や教科書の本文の意味を辞書を使って調べておく。 <復習>



- ① 授業で使ったプリントやワーク、ノートを整理し、授業を振り返る。
- ② その日に学習した単語、例文などを繰り返し書く。(書く・音読)
- ③ 復習して出てきた疑問点を質問し、必ず解決するようにする。

効 果 的 な テスト 勉

- ① 授業で使ったプリントやワーク、問題集などの問題をもう一度解いてみる。
- ② 単語や連語などを繰り返し練習し(書く・音読)、確実に覚える。
- ③ 教科書の基本文を、覚えるまで音読する。



- ② 日常の出来事などを英文にして先生に見てもらう。(生活の記録文を英文で書く。)
- ③ 英語検定やインタラクティブフォーラムに積極的に参加する。
- | ④ ALTに積極的に話しかける。
 - ⑤ 外国の人と文通をする。
 - ⑥ テレビやラジオの英会話番組を活用する。

Enstrea.

に

するため

けて先輩・短時

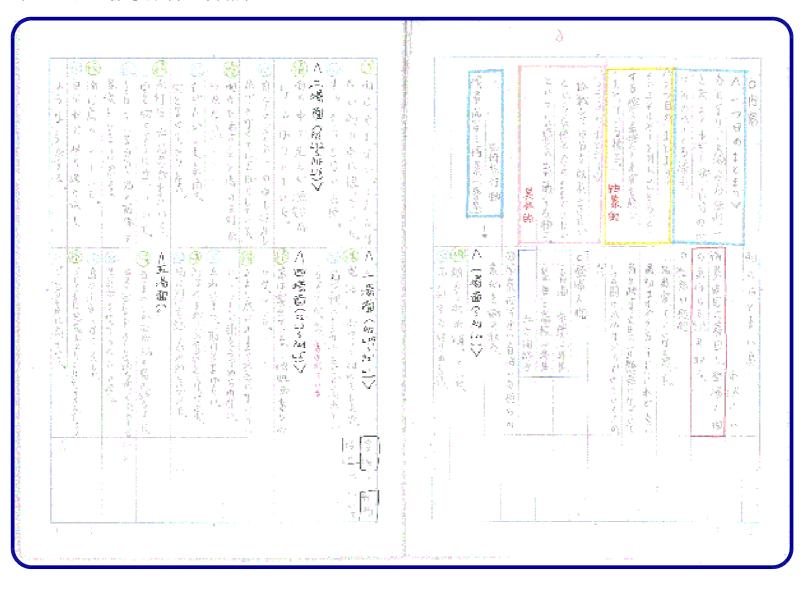
からのワンポイン

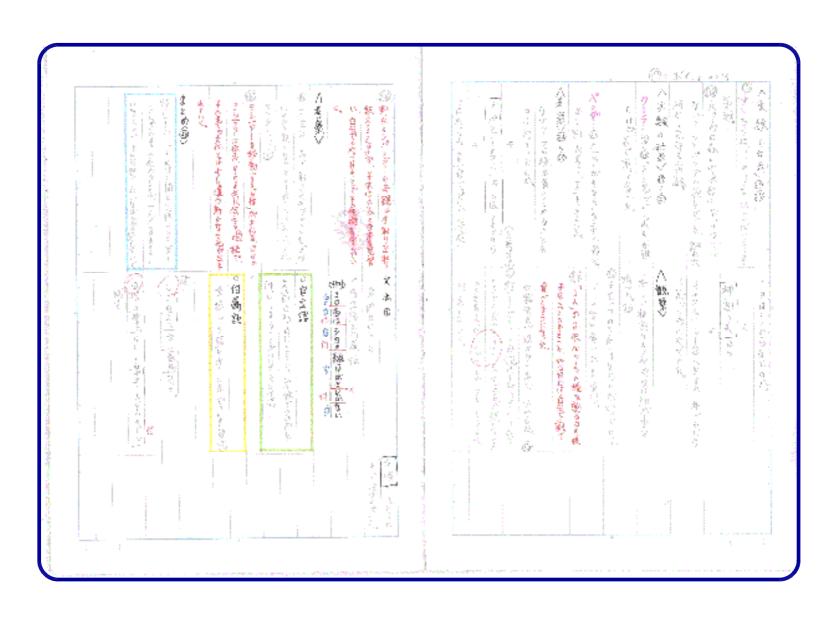
トアドバ

イス

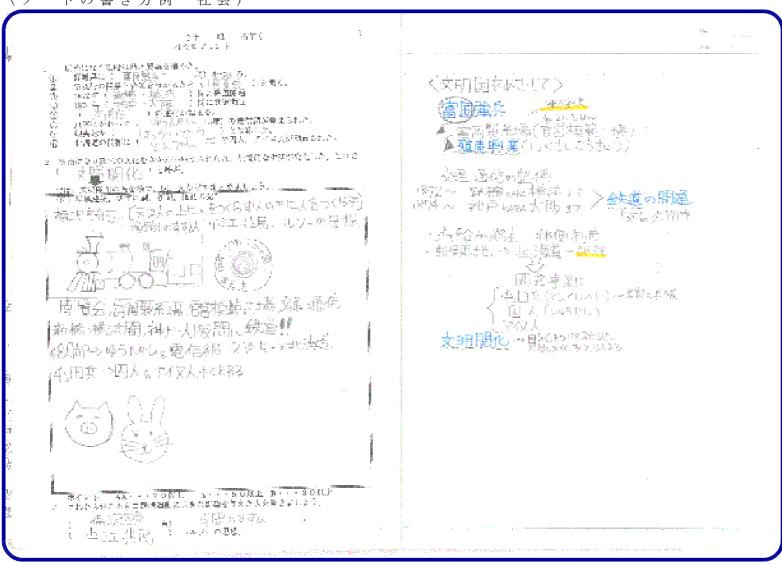
入試に向

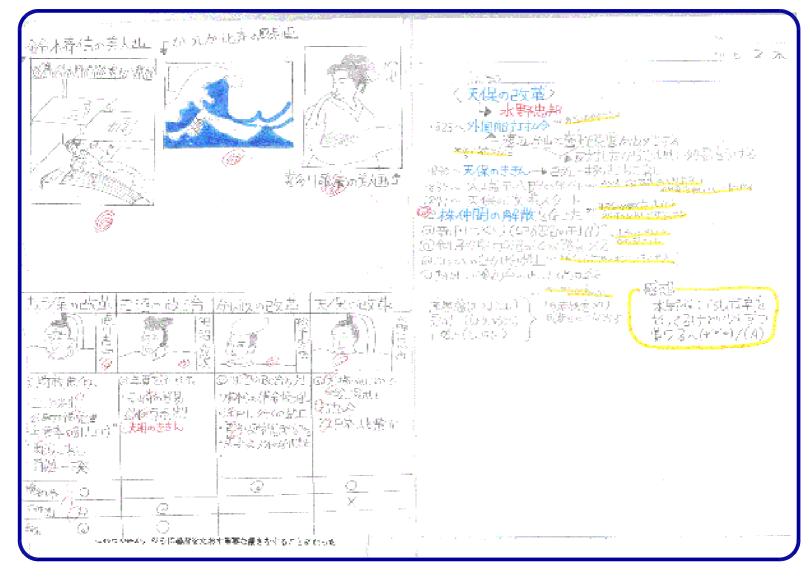
- ・聞き取り問題では、英文が読まれる前に、問題を読んでおこう。
- ・短時間で英文を読むために文法力や単語力, 熟語力などの力をつけておこう。
- ・普段から簡単な英語を使って、自分の考えを書く練習をしておこう。

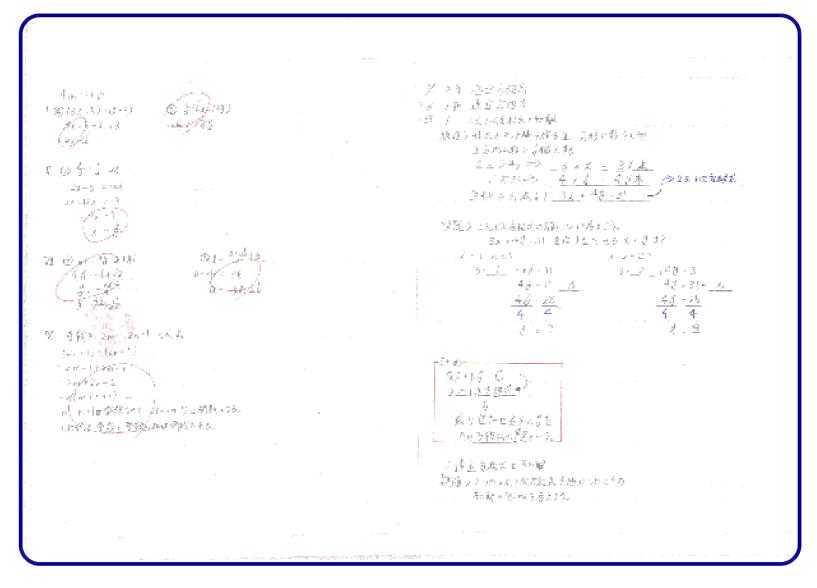


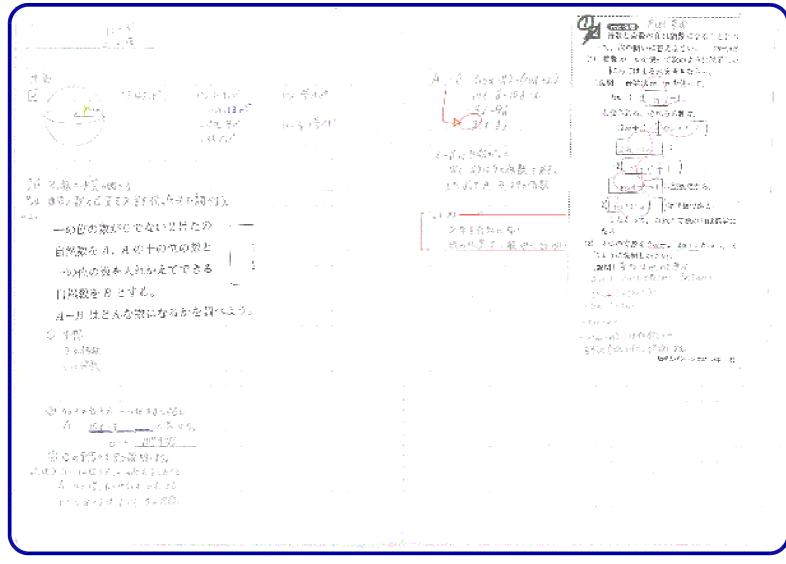


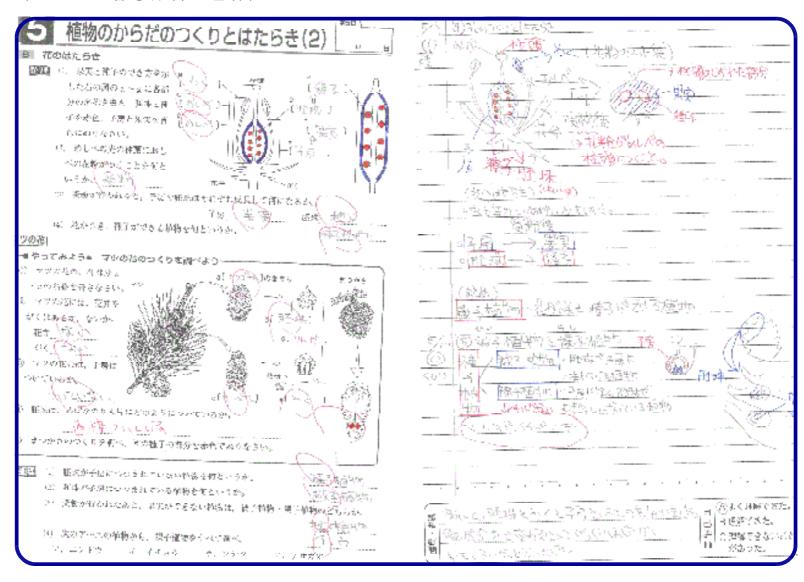
(ノートの書き方例 社会)

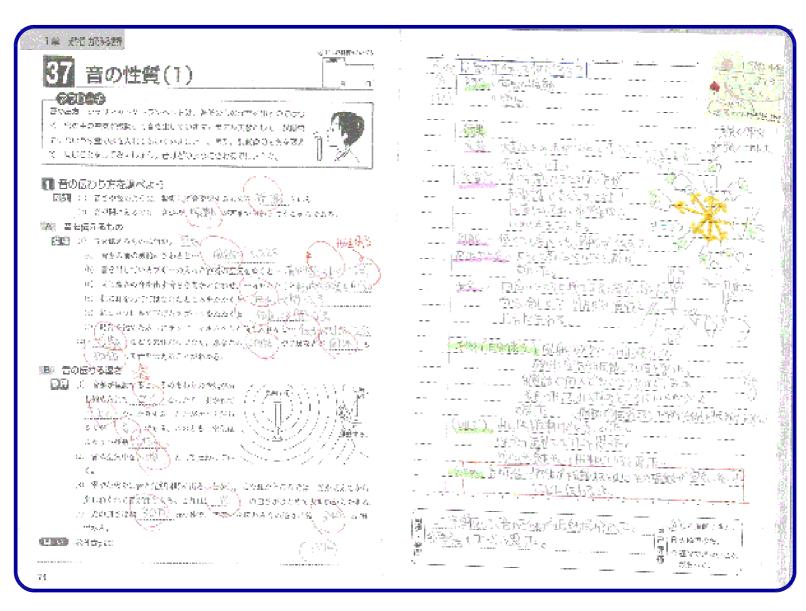












(ノートの書き方例 英語)

Unit 1 Let's gréssor braille [6] é. éisé) written [b. brign sée hip?] yo funteer (s) [6] á fossi ja in [6] vrees.	Con You Read This? hospitale is used by many people. Established to it is a state of the state	(1-1) Stops in 10 read mens, we say [be tost + tests aid & ast + by am, are, was, presidents were, frequency English is spoken by Olive 977-100 Station [his pen was yest by ms. (5076) (they when top whit top (they when by him. 2. I mile kanji. A. Konji is withen by ms.			
	器可以 Braille is used by many pupule.	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #			

